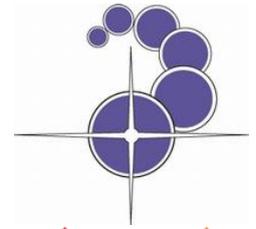




4 学年だより

～ Quest ～

令和2年10月27日



第22号



1 1月進研模試にむけて



模試に向けて進路指導担当者・各教科担当者からコメントをいただきました。前回同様に自分の力を発揮したい人、前は思ったようにいかなかった人、それぞれ準備は進んでいますか。今週の学習の参考にしてください。

進路指導担当より



いよいよ11月進研模試が目前に迫ってきました。先週末のプレ模試で「今の自分の状況」を確認することはできましたか？7月模試の時点では全国の多くの高校で新型コロナウイルスの影響が大きく、偏差値で【正確な自分の位置】を把握することは難しい状況でしたが、今回は違います。6月以降、どのように学習と向き合ってきたかによって、結果は大きく変わるでしょう。先を見据えて（危機感を持って）努力してきた人は、力を蓄えているはず。その場しのぎの『最低限の努力』しかなかった人は、残念な結果に終わるかもしれません。10月31日の模試本番に向け、まだまだできることがあります。全国の相手を意識して（各科目偏差値60以上を目指し）、少しでも良い結果が出るようにしっかり時間をかけて復習に取り組みしましょう。

例年、村上中等生は7月模試から11月模試で偏差値が下がる傾向にあります。原因の多くは、高校受験もなく同じ学校に3年半通うことからくる『気の緩み』ではないでしょうか。比べて他校生はどうでしょう？高校受験に合格するための真剣な努力、新しい環境での緊張感のある生活（学習）。いずれも中等生には無いものです。だからこそ、高い意識を持ち（楽しいことばかりに気を取られず）、お互いに切磋琢磨して欲しいと願っています。

以下の表は、昨年度の11月模試での偏差値と得点の対応表です。目標点を超えるために今後どのように過ごし、何を復習したらよいか。各教科からのアドバイスを参考にして、よく考え、限られた時間を有効に活用していきましょう。「どうせやらなきゃなら前向きに。せっかくやるのなら集中して。」同じ時間でも効果は全然違ってきますよ！

< 11月模試での偏差値と得点の対応表 >

偏差値	50	60	70
国語	47	62	78
数学	37	59	77
英語	38	58	75
合計	121	170	218



国語担当より



○評論、小説に向けた学習方法

評論文では、複数の事柄を対比させて筆者の主張を明確にすることが多い。この場合の読解ポイントは、(a) どのような話題について、(b) 「何と」「何が」対比され、(c) 両者の「違い」はどのようなものか、という点にある。とくに(c)は、筆者の主張ともつながるので、しっかり理解しておきたい。また、あとで設問を解きやすいように、本文中の対比の部分に目印をつけておくとよいだろう。

小説では、登場人物の心情が場面展開と密接な関係をもっている。場面が〈どこで・何をきっかけにして展開するか〉、そしてそれに伴って〈「ぼく」の気持ちがどのように変わっていったのか〉、単に物語の筋を追いかけるのではなく、このような点に注意して読み進めてほしい。また、どのような状況でどういった言葉が発せられたかということは、とても重要だ。たとえ状況がはっきりと書かれていなくても、登場人物の置かれている状況を常に考える習慣をつけておこう。

○古文、漢文に向けた学習方法

古文では、動作主(主語)が省略されることが多い。述語部分の動作・状態に対応する主体は誰か、状況を踏まえて考えていこう。最終的には文脈判断だが、接続助詞に着目すれば、ある程度の見当をつけることができる。

- ・「ば」「に」「を」の前後では主語が変わりやすい。
- ・「て」の前後では主語は変わらない。

また、登場人物の心情を問われる問題もある。心情を問われている傍線部を含む一文を、まず正確に解釈しよう。さらに、心情を表す形容詞があればそれに着目しよう。

漢文を読解するためには、指示語の正確な理解は不可欠だ。内容を押さえる際には、(1) 指示語のある文全体の内容(とくに動詞はそのヒントとなることが多い)を押さえ、(2) それから文章を前にさかのぼって内容を確定していくとよい。筆者の主張を読みとるには、文章の論理展開を把握することが肝要である。その際、まず何について述べているのか、その話題となっている事柄を正確に読みとることが大前提となる。また、反語文や同じ内容を繰り返している箇所もヒントになる。



数学担当より



プレ模試を受験してどう感じましたか？週末課題だったはずの「プレ模試なおし」。未提出の人が多くてとても残念に思っています。自分に必要なことであるという自覚は生まれなかったのでしょうか…。まあそれはさておき、10月模試の試験範囲はというと、3学年後期に学習を済ませた式展開や因数分解、ルートの計算や1次不等式、絶対値付き不等式に加え、4学年になって学習した2次関数・2次方程式の判別式Dの利用・2次不等式、さらには必要条件と十分条件、先日学習を済ませたばかりの場合の数まで。「習った頃は解けていたはずなのに」というもどかしさを感じた人も多かったのではないのでしょうか。復習の大切さはわかってはいるけれど、この先も範囲は広くなり続けるし、身につけたはずの知識は日々失われていき、だからといっていつも数学ばかりやっているわけにもいかない…。その気持ちも理解はできますが、だからといってこのままというわけにもいかない人も多かったはず。では残り5日間でいったい何ができるのでしょうか。

- ① 最優先はやはり、過去問対策。授業で扱った過去問冊子の問題は自分で解けるようにしておきましょう。数学の過去問冊子には、プレ模試の問題も入れると過去4年分の11月模試問題が載っています。少なくとも各大問の(1)と(2)は全員が意地でも身につける。それが当たり前という感覚を常に持ちましょう。
- ② 4/7 春課題, 6/29 小中間, 7/14 中間, 9/17 期末, 10/19 小中間をもう一度見直しておきましょう。学校のテストは、君たちが【各分野の最低限の力】を身に付けているか、教員が確認できるように作成されています。これを利用することで、君たち自身が「最低限が身に付いているか」をチェックできるはずです。さらに余裕があれば、朝テストの見直しもしてほしいところですが…。まあできる範囲で。

もしも君たちが本気でこの①, ②に取り組めば、確実に60点以上を取れると思います。この程度ならば、国語・英語の模試対策と一緒にやれるはず。君たちが本気を出せば、ですが。大学進学したい気持ちがあるのなら、やるべきです。あえて言うならば、【たかが今回の範囲】で復習が間に合わないのなら、今後の受験勉強自体が厳しいと言わざるを得ません。だって文系に進む人でさえ、高校で習う（国公立大学の受験に必要な）数学全体のまだ30%弱しか学習していないのです。だからこそ、『時間がない』などと言わず、ぜひこの機会に遠慮なく本気を出してみましょう。目標はあくまでも、【全員60点以上】ですよ！

もちろん、【数学が武器】の生徒は青チャートなどを利用してどんどん自分の力を高めてください。7月模試で1人・10月プレでは2人が100点満点でした。10月模試本番でも、きっと100点満点が出てくれると、大いに期待しています！

英語担当より



模試前日までにできること

①文法・表現

模試過去問で、自分が間違った問題は、なぜ間違ったのか、何がわかっていなかったのかを再度確認し、その文法事項や類題をbe教材で復習しよう。

②長文読解

模試冊子で読んだ長文にでてきた語彙・表現を覚えよう。頻出の単語や表現が見えてきます。



模試当日に心がけること

①リスニングは準備が命！

音声が始まる前に、設問と選択肢に目を通し、どんな内容の英文が流れるのか予測し、下準備をしておくことが重要です。音声が始まったら、キーワードや数字をメモしながら落ち着いて聞こう。

②文法問題でもたまたしない！

文法・語法問題は、その知識がなければ、いくら時間を使って考えても、なかなか正解を選択できません。わからない問題は、直感を信じ、とりあえずマークして次へ進む。後半の長文読解の時間を確保することが重要です。

③長文読解は得点源！

論説文は、まず設問に目を通し、各段落に「ひとこと要約」をメモしながら読もう。わからない単語・表現があっても、とりあえず先へ読み進める。その後、言い換え表現や具体例が出てきて、内容が見えてくるが多々あります。

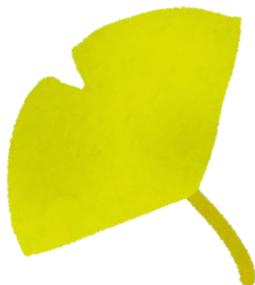
文中に出てくる however, but, therefore や while, on the other hand など対比の表現にチェックを入れ、情報を整理しながら読もう。

物語文でも設問から目を通し、本文を読む時は「誰が」「何をした」→主語と述語動詞に着目する。「どこで」「何を」「いつ」「なぜ」等、キーワードにチェックを入れて整理しながら読もう。

Let's try !



進路指導担当からのコメントでもあったように、この模試は偏差値が下がる傾向にあります。昨年度の4年生11月進研模試の偏差値では、7月と比べて、国語が-1.9、数学が-2.7、英語が+0.5となりました。3教科全体では、2019年度、2018年度、2017年度の順に-1.8、-1.1、-0.1となっています。下がるのは当たり前というわけではありません。下がらないように、むしろ上がるように何かをしよう、ということです。範囲は決まっています。やると効果があることは各教科のアドバイスに書いてあります。この1週間、何かひとつでも多くチャレンジしてみませんか。本番まで力を蓄えて、それが発揮されることを願っています。がんばろう！



新潟県立村上中等教育学校

TEL 0254-52-5115

FAX 0254-53-6773

学校ホームページ URL

<http://www.murakami-ss.nein.ed.jp/>

電車不通時の連絡

mrk-ss.16@murakami-ss.nein.ed.jp